



令和4年度 兵庫県立神戸特別支援学校グランドデザイン

新しい時代に必要な 資質・能力の三つの柱

学びを人生や社会に生かそうとする
「学びに向かう力・人間性」の涵養

生きて働く
「知識・技能」
の習得

未来の状況にも対応できる
「思考力・判断力・
表現力等」の育成

兵庫県の基本理念

兵庫が育むところ豊かで自立する人づくり
—「未来への道を切り拓く力」の育成—

校訓 「明るく 仲良く 元気よく」

教育目標

人間尊重の精神と深い愛情をもって、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育を行い、自立と社会参加への意欲と豊かな心を育てる。

めざす学校像

- 児童・生徒と教職員がともに成長し続け常に進化し続ける学校
- 児童・生徒・保護者・地域のニーズ（期待＝使命）に応える学校
- 児童・生徒一人一人が高い志や夢を抱きその実現を果たす学校
- 児童・生徒一人一人の豊かな人間性を養成する学校
- コミュニケーション・情報共有による明るく風通しの良い学校
- 信頼に応える学校

兵庫県特別支援教育第三次推進計画

兵庫県がめざす特別支援教育

- すべての子どもが認め合い、安心して学べる環境
- 幼児児童生徒に応じた合理的配慮の提供
- 切れ目ない一貫した支援

- I 連続性のある多様な学びの場における教育の充実（縦の連携）
- II 連携による切れ目ない一貫した相談・支援体制の充実（横の連携）

センター的機能

- ・発達障害のある幼児児童生徒を含め、一人一人の教育的ニーズを把握し、きめ細かく適切な教育支援を行うことを理念とし、地域における支援・助言等を行う。

神戸市教育委員会北区担当課、幼稚園・保育園、小学校、中学校、高等学校 等

就労支援にかかる 関係機関

- ・地域や企業等と連携した発達の段階的な進路学習を通して、生涯にわたって生きる力を探求する姿勢を育む。
- ・現場実習等を通して、本人及び家庭等と事業所間で必要な支援について情報を共有する。

しごとサポート北部、ハローワーク神戸障害者就業・生活支援センター、各企業 等

<小学部目標>

- 身のまわりのことがらを自分でしようとする力を養う。
- 自分のからだに関心を持ち、健康かなからだをつくらうとする態度を育む。
- いろいろなはたらきかけを受け入れ、自分からはたらきかけようとする心を育てる。

<中学部目標>

- 身辺自立と社会生活に必要な基礎的な力を養う。
- すこやかな体と豊かな心を養う。
- 自分らしく、物事に積極的に取り組もうとする態度を育てる。
- 集団生活に必要なルールを理解し、友達と協力する力を養う。

<高等部目標>

- 豊かな心とたくましく生きる力を養う。
- 自ら考え、行動する力を養う。
- 社会生活に必要な知識・技能・態度を養う。
- 人として豊かな生活を築いていく力を養う。

研究テーマ

「自立活動を基盤に据えた授業づくり」～自立と社会参加を見据えた系統性を考える～

小学部から高等部まで、系統性のある授業について検討を行い、児童生徒の自立や社会参加へとつなぐ。本研究を通して、一人一人の実態に応じた授業づくりや、学部間の連携について改めて考えるとともに、自立活動の更なる充実に向けて研究を進める。

実践の重点

教育的ニーズに応じた教育の充実

児童生徒の実態に即した基礎的・基本的な内容を重視した教育を推進するとともに、自立活動の指導を効果的にを行い、社会の一員としての必要な資質を培う。

交流及び共同学習の充実

「心のバリアフリー」の推進に向けて地域社会とのふれあいを深め、「開かれた学校」づくりに努める。また、居住地域での生活基盤を形成するため、幅広い人間関係と社会性を養う。

キャリア教育の充実

児童生徒の発達段階に応じた教育指標「つきたい力」を設定し、系統的なキャリア教育を実施する。また、生活、就労、余暇の観点から調和的な発達を促す。

医療・福祉等 関係機関

- ・本人・保護者の願いを中心に据えた適切な支援を行うため、福祉機関と効果的な支援を共有する。
- ・児童生徒の安全安心な学校生活を支援するため、緊急時の対応も含めた必要な情報を共有する。（医療的ケアを含む）

こども家庭センター、放課後デイサービス、神戸市北区保健福祉担当、学校医、医療的ケア指導医、地域の病院 等

家庭・地域社会

- ・社会に開かれた学校として、保護者や地域住民の特別支援教育に関する理解が深まるよう、学校の取組を通信やHPで発信する。
- ・地域社会や関係機関と連携し、様々な機会をとらえて、積極的に理解促進を図る。

PTA、桜の宮ふれあいのまちづくり 等

「チーム学校」の考え方に立った協働体制の推進